

中部運輸局自動車交通部

平成29年8月30日定例記者懇談会発表



連絡先

中部運輸局 自動車交通部

旅客第一課 担当：白木、鈴木

TEL 052-952-8035

貸切バス適正化センターによる巡回指導を開始します

～安全・安心な貸切バスの運行の実現に向けて～

一般貸切旅客自動車運送適正化機関である、一般財団法人中部貸切バス適正化センターでは、一般貸切旅客自動車運送事業者の営業所を訪問し、国の監査に準じた法令遵守状況の確認・改善指導を行うための巡回指導を平成29年9月4日より開始します。

なお、巡回指導の開始にあたり、下記のとおり「巡回指導出発式」を開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 日 時 平成29年9月4日（月）10：00～10：30
2. 場 所 名古屋市中区金山一丁目9番19号 ミズノビル8階
一般財団法人 中部貸切バス適正化センター
3. 出席者 中部運輸局、中部バス協会ほか
4. 次 第 ①主催者挨拶 ②来賓挨拶 ③巡回指導車出発
（次第は変更される場合があります）
5. その他 同日の17：10から上記法人の評議員理事による決起集会が開催されます。（場所：中部運輸局11階会議室）

※取材のお申し込み又はお問合せについては、「中部貸切バス適正化センター（052-228-9702）」へご連絡願います。

※適正化機関及び巡回指導の概要については、別紙をご覧ください。

法人概要

- ◆ 設立日 平成29年4月3日
- ◆ 設立者 中部管内各県バス協会
- ◆ 代表者 加藤 博和(名古屋大学教授)
- ◆ 事業 一般貸切旅客自動車運送適正化事業(国土交通大臣指定機関)
- ◆ 事務所 名古屋市中区金山一丁目9番19号
- ◆ 管轄区域 愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、福井県

設立経緯

平成28年1月15日に長野県軽井沢町で発生したスキーバス事故を受け、国土交通省に設置された軽井沢スキーバス事故対策検討委員会において、このような悲惨な事故を二度と起こさないという強い決意のもとに、6月3日に「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」のとりまとめ。

平成28年12月2日には、監査機能の強化と自主的改善の促進に向けて、適正化事業実施機関が巡回指導等を行うための負担金徴収制度の創設等の措置を講ずる「道路運送法の一部を改正する法律」が成立。

これを受けて、平成29年4月3日にバス事業者団体により設立された「一般財団法人 中部貸切バス適正化センター」より、上記の巡回指導等を行うため、道路運送法第43条の2第1項に規定する一般貸切旅客自動車運送適正化事業実施機関の指定申請がなされ、同条同項に基づき、平成29年5月25日に指定。

- 軽井沢スキーバス事故の発生
発生日:平成28年1月15日
・**乗客乗員15名死亡**、乗客26名重軽傷

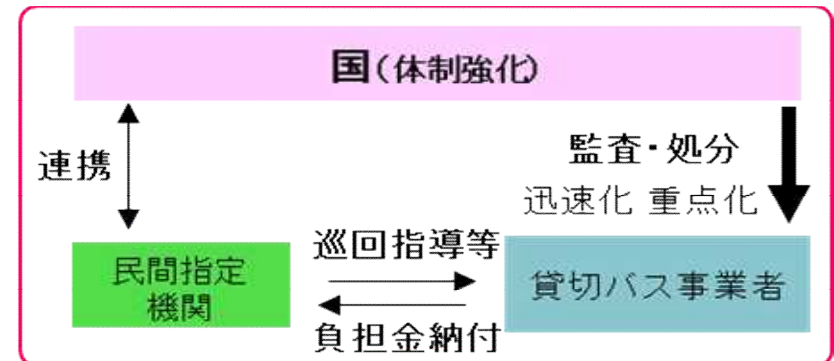


総合的な対策5つの柱

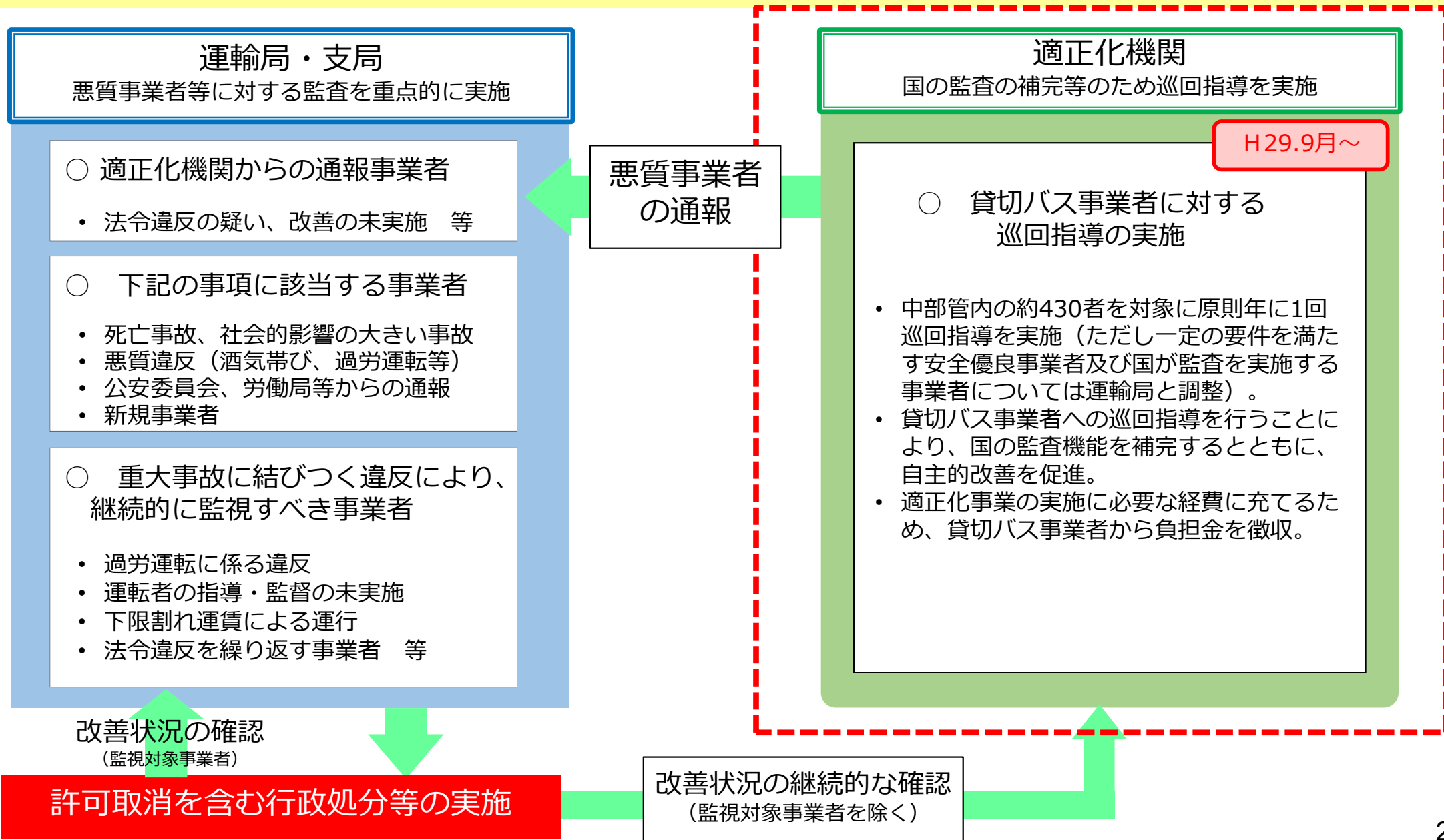
- (1) 貸切バス事業者、運行管理者等の遵守事項の強化
- (2) 法令違反の早期是正、不適格者の排除等
- (3) **監査等の実効性の向上**
- (4) 旅行業者、利用者等との関係強化
- (5) ハード面の安全対策による事故防止の促進

道路運送法の一部を改正

貸切バス事業者に対して **民間指定機関による巡回指導等**を行うため、当該機関による貸切バス事業者からの **負担金徴収の制度を創設**



- 国は悪質事業者に対して重点的に監査を行うこととし、これを可能とするため、適正化機関を活用することにより、すべての貸切バス事業者をチェックして悪質事業者を洗い出す。



○ 中部貸切バス適正化センターは、国が行う監査を補完するため、国の監査対象事業者以外の事業者を対象に巡回指導を実施し、業界の自主的改善を促進することにより、貸切バス事業における事故防止を徹底し、業界全体の安全意識の向上を図ることを目的とする。

